

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-8-20 第618回例会 NO.14-7 2003-8-27 発行

◎司会 SAA委員会 正房 正孝

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 大松 誠二

- ・東京東村山RC 野村 高章 様
- ・岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・2週間ぶりの例会です。皆様夏休みは如何でしたでしょうか。関戸の花火大会では生憎の天気でしたが、親睦委員会の伊澤さん、萩生田政由さん、小泉さん、ご苦勞様でした。
- ・本日例会後事務局にて定例理事会を開催致します。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- ・7月の出席率82.86%をガバナー事務所に報告しました。
- ・回覧：稲城RC週報、ローターアクト地区広報誌「Pink Walker」、国境なき医師団のニュースレター。
- ・東京飛火野RCより例会変更が来ています。

◎前年度会務報告 直前会長 小坂 一郎

- ・前年度会計報告につきまして、理事会で通りました。お手元の資料について小林会員より報告がございますので、よろしくお願いたします。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 小林 正

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名(出席免除者2名)
- ・出席者数 36名
- ・欠席者数 6名(事前MU1名)
- ・出席率 88.10%
- ・欠席者：赤尾 恭雄、藤原 正範、平野 行廣、小泉 博、佐伯 和廣、関岡 俊二
- ・補填MU：赤尾 恭雄 8/7 地区学友委員会

7/30 最終訂正出席率 85.71%

8/5 最終訂正出席率 78.57%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 加藤喜三郎

岡山西南RC 椎原 裕二様

先日は横浜の文化体育館で全日本ジュニア体操大会があり、予選を通過し、11月に埼玉であるオールジャパン(全日本)の出場権を獲得しました。バンザイ！
大松 誠二 花火大会、お疲れ様でした。特に親睦委員会の皆さん、お世話になりました。

藤本 吉文 お客様ようこそ。皆さん、久しぶりですね。
伊藤 英也 小田さんの卓話、楽しみに致しております。
宮村 宏 全日本ジュニアテニスで娘がベスト8でした。中学生の生徒はダブルスで全日本で優勝しました。

伊澤ケイ子 8/5花火残念でした。参加の皆様ご苦勞様でした。
北村 幸彦 今年は何という天気なのでしょう。もう、秋ですね。
萩生田政由 先日の花火大会 残念でした！

海野 榮一 お久しぶりです。
小城 章員 小田さん、卓話を宜しくお願いたします。
津守 弘範 小田さん、卓話楽しみにしております。

菅井 信夫 7月5日(火) 関戸花火大会に「孫6人」を連れて参加させて頂き有難うございました。生憎の集中豪雨でしたが、楽しませて頂きました。親睦活動委員会の皆様に感謝申し上げます。雨の中、本当にご苦勞様でした。

加藤喜三郎 夏の来ない夏ですね。
事務局より 花火大会二次会のお釣りで。

本日の合計¥23,400(累計¥186,130)

◎親睦活動委員会 委員長 伊澤ケイ子

9月6日「よこやまの道歩こう会」の参加呼掛け

◎SAA委員会 委員長 根本 泰守

炉辺会議(9月2日)参加の呼掛け

◎ゴルフ同好会 澄川 昇

会長杯取り切りゴルフへの参加呼掛け

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝
【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰樹

◎野球同好会

3クラブ合同練習試合の案内

◎クラブ会報委員

会員の声コーナー投稿用紙の説明

高木 淳光

由井 眞司

◎卓話「裁判員制度概要」

小田 泰機



「司法制度改革審議会設置法」に基づき内閣に「司法制度改革審議会」が設置された。13人の弁護士等の法曹、有識者らで構成され、約2年の審議を経て、平成13年6月12日に「司法制度改革審議会意見書」が公表された。この意見書に盛り込まれた改革案は、「司法制度改革推進法」及び「司法制度改革推進計画」に基づき設置された各種検討委員会による経過を経て、平成16年11月30日を目途として逐次法案化され、実現されていく計画となっている。意見書は、改革の3つの柱を挙げており、1つが国民の司法参加となっている。「裁判員制度」は、刑事司法手続きへの国民の参加の制度として導入が提案されているものである。意見書では①基本的構造、②裁判員の選任方法、裁判員の義務等、③対象となる刑事事件、④公判手続、上訴の4つの事項について裁判員制度のあるべき基本的方向を示している。この意見書の示した方向に沿って、現在「裁判員制度・刑事検討会」において、その具体化、法案化に向けての作業が進行中である。新しい制度であるため、制度の導入に批判的な意見も強く、世論調査の結果でも反対が多い。制度の成立までには紆余曲折が予想される。この制度は、国民の義務という側面もあり、国民に相当の負担を強いるものであるから、関心を持って今後の推移を見守る必要がある。

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 2

祖父の家の果樹園、野菜畑と干し草畑は同じ構内にあった。リンゴやスグリの木は、じゃが芋、いんげん、レタス、二十日大根、かぶ、キャベツ、砂糖大根などの領分には敬意を払って、お互いにその領分を荒らすことはなかった。



父

果樹園と干し草畑に比べると、隣の野菜畑は祖父と手伝いのウィンおじさんの手が二倍も掛かった。畑を鋤いたり、種を播いたり、肥料をやったり、耕したり、草取りをしたり、じゃが芋の虫取りなどいろいろと手入れが必要だった。果樹園の方は余り手が掛からず、まぐさ畑の方は、納屋の回りで拾った牛糞を手押し車に、三台分も

播いてやればチモシイ草やクローバーが沢山取れた。野菜畑は岩だらけだったが、祖父とウィンおじさんは非常に大量の食料を取り入れていました。じゃが芋だけでも畑の存在価値は十分あり、畑にはブローと言う赤い桃、ヘブロンと言う白い花、早咲きのバラ等を植えていたが、主力はパーバンク種のじゃが芋だった。ウィンおじさんは自分に割り当てられた畑で、じゃが芋作りに全力を上げ、芋のことを「タティーズ」と言っ



母

ていた。ポールと仲良しだったおじさんの一家は大家族で食料も沢山必要だったので、秋には手押し車にじゃが芋を一杯積んで家へ引いていった。

野菜の生育期になると、畑ではいろいろと面白いことが起きた。春先には、レタスと二十日大根が芽を吹き始めて豊作の先触れを務めた。祖父が準備しておいた「手」に早咲きのえんどうが絡み始め、ウィンおじさんが松林から切ってきて畝一杯に指しておいた添え木には、さや豆の蔓が巻き付き始める。

何と言っても、家庭菜園で取れた野菜は祖父とウィンおじさんの汗の結晶で、どれもこれもうちの畑で取れたものだと思うとポールには素晴らしく見えた。

【ロータリー知識】 入門編

ロータリーの誕生とその発展

20世紀初頭のシカゴの街は著しい社会経済の発展の陰で商道徳の欠如が目につくようになっていました。青年弁護士ポール・ハリスは、この風潮に耐えかねて、友人3人と語り、お互いの信頼できる公正な取引をし、仕事の付き合いがそのまま友人関係に発展するような仲間を増やしたい、という趣旨で会合を考えました。各自の職場を持ち回りして会合を開いたことからロータリークラブと名付けられ、1905年2月23日、シカゴクラブが誕生し、その後志を同じくするクラブが全米各地に生まれ、更に全世界に発展して、昨年末31,314クラブ、会員数1,22万人に達したとのR I公式発表がありました。

ロータリーは歴史的から見ても職業倫理を重んじる職業人の集まりでありその組織が世界各地に拡大するにつれ、地域社会から幅広い奉仕活動を求められるようになり多方面に渡り多大な社会貢献をしています。因みに、当クラブは1990.09.05創立（創立会員33名）日本では1925番目のクラブです。

◆委員会だより◆

特別事業Aグループ実行委員会 宮村 宏

普段スポーツに接する機会の少ない障害者の方（車椅子使用の方）がアメリカではバスケットボール、バレーボール、テニスに興じて活躍している姿をテレビ、新聞、雑誌等によく見かけます。その人たちは障害者であるにもかかわらず健常者に負けないぐらい、またそれ以上にスポーツをエンジョイしています。実行委員会は多摩市周辺にお住いの方で車椅子使用の方を対象に、テニスレッスンに参加していただくことによって、テニス、スポーツを楽しんでいただくきっかけになればと特別事業を計画しました。



◎点鐘

会長 大松 誠二

(今週の担当 由井 眞司)